

箕面萱野駅前南側交通広場について（回答）**【質疑】**

触知案内板は大阪メトロにあるようなものを導入してほしい。触ってわかる地図や、ボタンを押せばどこに行けばよいか案内してくれるものがよい。

【回答】

触知案内板はボタン等の機器はございませんが、視覚障害者のかたも案内板を触ってロータリー内の情報が読み取れるように、点字仕様の地図となっております。また、触知案内板から音が鳴り、設置場所を知らせる仕様となっております。

【質疑】

障害者等用乗降場には全て屋根があるのか。

【回答】

南側交通広場の車道は大型バス等も通行するため、車道上部には屋根を設ける予定はございません。なお、歩道から駅改札口までは、雨に濡れずに通行できるように歩道上に屋根を整備いたします。

【質疑】

仮設の障害者等用乗降場は南側交通広場の工事が終わったらなくなってしまうのか。仮設を残すことはできないのか。

【回答】

仮設の障害者等用乗降場は交差点に近いので、乗降場に最適な場所ではないが、利便性の確保と南側交通広場の完成までの1年間という条件で警察との調整により整備することができたものです。そのため、仮設の障害者等用乗降場は令和6年3月23日から令和6年度の南側交通広場の開業までの施設になります。